



《将来に向けた取組方針》

- ・私たちの社会は、豊かな生物多様性の恵みの上に成り立っており、その維持・保全是、持続可能な社会を実現するための基盤となるものです。MUFG は、商品・サービスの提供を通じて、生物多様性を保全する事業を支援するとともに、グループ各社の商品・サービスが生物多様性へ負の影響を及ぼすことが無いように適切に対応します。
- ・絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）に違反する事業に対しては、環境・社会に対するリスクまたは負の影響を認識した場合はファイナンスを実施しません。

〈具体的取組み事例〉

〔三菱UFJ環境財団の取組み〕

●「みどりの絵コンクール」の開催

子供たちに、自然に親しみ、自然の美しさ・大切さを知ってもらおうと「みどりの絵コンクール」を開催しています。当コンクールには、毎年2.5万人近い児童生徒から応募があり、これまでの累計で138万点の作品の応募をいただいております。2019年度も日本ユネスコ協会連盟との共催のもと、環境省・日本ユネスコ国内委員会・毎日新聞社の後援を得て実施しています（「行動指針7-2」関連の取組み）。

〔三菱UFJ信託銀行の取組み〕

●「ピーターラビット未来へつなぐ森」

2009年5月、長瀬町および埼玉県と「埼玉県森林づくり協定」を締結し、長瀬町宝登山地内にある共有林（約1ha）で森林保全活動を開始しました。「ピーターラビット未来へつなぐ森」と名づけたこの森で、植樹や下草刈りといった活動に、役職員とその家族が参加しています。2019年6月には約60名が参加し、木々の成長を助ける下草刈りを行いました（「行動指針3-4」関連の取組み）。